

info DRIVE ジャマガジン

jama

Japan Automobile

Manufacturers Association

日本自動車工業会 広報誌

JAMA vol.55
2021 1-2 月号
[January-February]

日本の自動車業界で働く人は550万人

一步踏み出そう。

そして、有難うございます。



自動車業界550万人に向けたメッセージ

「私たちは、動く。#クルマを走らせる550万人」

自工会会長年頭メッセージ動画

「2050年カーボンニュートラル」に向けた課題と基本的な考え方

jama
Japan Automobile Manufacturers Association

自動車工業4団体

梶山経産大臣より感謝状を授与



経済産業省は新型コロナウイルス

ウィルス感染症流行に際し、医療物資[※]の緊急増産を行い、需要の改善を通じて国民生活の安定に大きく貢献した299の企業・団体に対して、梶山大臣から感謝状を授与しました。自工会の受賞理由は、昨年の自動車工業4団体連携による医療支援の活動が高く評価されたものです。今後も「モノづくり」の力を活かし、お役に立てることがあれば取り組んでいきます。

※マスク、消毒液、医療用ガウン、フェイスシールド、ゴーグル、医療用手袋、人工呼吸器等

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に、ご協力いただいているすべての皆様へ

今般の新型コロナウイルス感染症の流行に際し、最前線で向き合っておられる医療従事者をはじめ、医療物資の円滑な供給に貢献いただいている事業者の方々には改めて感謝申し上げます。

春先の新型コロナウイルス感染症の急速な拡大期には、私どもより、感染予防に欠かせない医療用マスク、消毒液、医療用ガウンなどについて増産の依頼を行わせていただきました。皆様のご協力もあり、感染拡大を押しさえ込み、社会の混乱を最小限に抑えることができました。経済産業大臣として敬意を表すとともに、心より感謝申し上げます。

しかしながら、先月来の感染拡大は、高止まりの傾向が続いております。年末年始にかけてこれ以上の感染拡大を食い止め、落ち着いた年明けを迎えることができるよう、政府においても最大限の対策を講じているところであります。

本格的な冬の到来を迎え、季節性インフルエンザとの同時流行という経験したことがない危機にも対応しなければなりません。予防、治療に必要な体温計、アビガン、ワクチン、抗原検査キット等を円滑に供給するため、引き続きご協力をお願いしているところであります。

新型コロナウイルス感染症への対応は、政府だけではなく、皆様の御協力が必要不可欠です。新型コロナウイルス感染症による危機に、産業界のみならず日本全体として一致団結して立ち向かい、ともに乗り越えていくため、引き続きご協力をお願いできればと存じます。

令和2年12月21日

経済産業大臣 梶山弘志

JAMAGAZINE 2021年 1-2月号

発行日 2021年1月29日
 発行人 一般社団法人 日本自動車工業会 総合政策領域
 発行所 一般社団法人 日本自動車工業会
 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車工業会
 総合政策領域 kouho2@mta.jama.or.jp

©禁無断転載：一般社団法人 日本自動車工業会



02 自動車業界550万人に
 に向けたメッセージ
 「私たちは、動く。
 #クルマを走らせる550万人」
 自工会会長年頭メッセージ動画

10 自工会の
 「2050年カーボンニュートラル」
 に向けた課題と基本的な考え方

13 自工会からのお知らせ
 AC100V・1500Wコンセント搭載電動車から
 電気製品への給電に関するご注意について

14 **連載**
 自動車業界ワンチームで
 感染症対策と支援活動を展開⑤

16 **記者の窓**
 「クルマの香り」と記憶」
 日刊工業新聞社 日下 宗大

- 1 自工会 豊田章男会長
- 2 3 自動車業界550万人に向けたメッセージ
 「私たちは、動く。#クルマを走らせる550万人」
 自工会会長年頭メッセージ動画
- 4 自動車業界ワンチームで感染症対策と支援活動を展開⑤

●JAMAGAZINEは自工会WEBサイトからもご覧いただけます

[www.jama.or.jp/lib/
 jamagazine/index.html](http://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/index.html)



自動車業界550万人に向けたメッセージ

「私たちは、動く。#クルマを走らせる550万人」 自工会会長年頭メッセージ動画

自動車業界ではコロナ危機を一丸で乗り切るべく、2020年4月より自工会だけでなく、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会を含めた自動車工業4団体と、夏以降は日本自動車販売協会連合会を加えた自動車5団体で連携を強化しコロナ禍の日本経済において自動車が牽引役になるべく、業界をあげて取り組んできました。

自動車5団体は日本の自動車関連業界で働き、移動を支えている約550万人への感謝を含めて、新年を迎えるにあたりメッセージをお届けしました。

日本を中心に、大きな躍動が生まれるはずだった2020年。コロナ禍というかつてない事態に世界は失速してしまっただけでなく、しかし停滞する日々の中で、はっきりわかった。「動く」ということが私たち人間の根源的な願望であること。そして、この国の生活が移動によって支えられてきたこと。日本の自動車業界には、550万人の人たちが働いている。自動車メーカーだけではなく、部品製造やメンテナンスに関わるエンジニアも。ガソリンスタンドで働くスタッフも。物流を担う運送会社のドライバーも。みんなこの国の「移動」を支える大きなチームだ。この550万人の思いがひとつになったら、どれほどの力になるだろう。移動を活性化し、世の中の人々に元気をもたらすために。いまこそ動き出そう。動き出せば、風が生まれる。景色が変わる。あしたに近づく。新しい日常とは立ち止まることじゃない。新しいやりかたで、新しい道を進んでいくことだ。

#クルマを走らせる550万人

▲新聞広告 1月1日 全国10紙/地方紙50紙に掲載しました。

スペシャルムービー ▶▶▶

私たちは動く #クルマを走らせる550万人



停滞する中で、ハッキリ分かった
この国の生活が移動によって
支えられてきたこと
部品をつくる人がいて
組み立てる人がいて
整備する人がいて
燃料を入れる人がいて
そして運転する人がいて
はじめて、クルマは走る

日本の自動車業界で働く人は
550万人
その思いが一つになったら
どれほどの力になるだろう

動き出そう 動き出せば
風が生まれる 景色が変わる
明日に近づく

新しい日常とは、
立ち止まることじゃない
新しいやり方で新しい道を
進んで行くことだ

▲TVCM 1月1日~中旬に全国各局にて放送されました。今回初めての試みで、Twitterにも投稿し、You Tube並びにTwitterでの再生回数は90万回を超えました。

自動車産業に従事する550万人の一人ひとりにエールを送る内容です。



現場で働く人々の声

「私は、この仕事自体が好きなので、日本のクルマはやっぱり世界に誇れるものだと思っているので、それに関われることは嬉しいと思っています」

(製造関係)

「来年は全て元通りにはならないと思うんですけど、新しい形で、明るい未来というものがすごく見えてくるといいな感じています」

(ショールーム関係)

「我々が日本の経済を回しているという自負があるので、運送会社の担う大きな役割というのを常に考えながら、仕事をプライド持ってやっている。そう言った意味では、車がなくては我々の仕事は成り立たないので、(車は)すごく大事な存在です」

(運送関係)

「少しでも、たくさんのお客様をお乗せして、その移動の中に少しでも価値を提供できたらと思っています」

(サービス関係)





自動車 で 日本を**元気**にする 明日につながる 一歩



日本自動車工業会 豊田会長から

550万人への 年頭メッセージ

年頭メッセージ

■改めて医療従事者に感謝

日本自動車工業会会長の豊田
でございます。

自動車産業で働く550万
人の皆様、あけましておめでと
うございます。そして、ありがと
うございます。

第3波の厳しい状況の
中で、今もなお、私たちの命を
守るために、懸命に闘っておら
れる医療従事者の皆様、現場で
闘っておられるすべての方々に、
改めて感謝申し上げます。本当

2021年、自動車業界はコロナ危機を丸となって乗り切るべく、自工会の豊田会長が年頭メッセージを発信しました。今年は震災からの復興、コロナからの復興が大きなテーマとなる年。さらには日本産業界の課題である「カーボンニュートラル」、「SDGs」への対応を大きくする進める年でもあります。

今こそ、自動車産業550万人の力を結集する時、と呼びかけました。



にありがとうございました。

「コロナという脅威と闘いながらではありますが、皆様と新年を迎えられたことをうれしく思っております。

昨年は、世界中の人々が「自由に移動することができない」ということを経験しました。同時に、「移動できることの有難さ、幸せ」を実感した年でもあったと思います。

さらに、もう一つ。私たちの「移動」は多くの仲間によって支えられているということに気づかされた年でもありませんでした。

■550万人への感謝

クルマを走らせる550万人。部品を含め、その製造、販売整備などに関わっておられる方が237万人。タクシー、バス、トラックなど輸送に関わっておられる方が269万人。ガソリンスタンドや自動車保険などサービスに関わっておられる方が35万人。

皆さんの仲間が働くことで、はじめて、私たちの移動が実現しています。だからこそ、新年

を迎えるにあたり、浮かん言葉は「おめでとうございませう」といつよりも、「ありがとうございました」という想いでした。

これは私だけではありません。昨年、コロナ危機に直面した時、「一緒に乗り越えよう」「自動車で日本を元気にしよう」「一言で済ませてくださった、部品工業会、車体工業会、機械器具工業会、販売協会連合会、皆様もまたく同じ気持ちでした。

そこで、今年のお正月には、自動車産業を支えてくださっている皆様に感謝の気持ちを届けようということにいたしました。

「#クルマを走らせる550万人」動画は、リアルな現場で働く方々を撮影させていただきました。その時、たくさんのお話も伺わせていただきました。

皆様の力強いお言葉から、逆に、私たちが元気をいただいたように思っています。だからこそ、この動画は、皆様の感謝への気持ちをお伝えするだけではなく、「新しい年を迎え、元気で頑張ろう」という550万人の皆様へのエールになればと思います。

自動車産業が日本経済をけん引

■1増加が2.5倍増加に

自動車産業が生み出す雇用は550万人です。日本で働く10

人に1人が自動車産業に関わっていることとなります。国に納めている税金は15兆円。そして経済波及効果は2.5倍。自動車生産が1増加

経済波及効果

2.5倍

すれば全産業が2.5倍増加することになります。これは自動車産業が動けば、日本の多くの産業が動くということを示しています。

「コロナ危機が続くなかでも、自動車産業と日本経済が回復に向けた道のりを何とか進んでいけるのは550万人皆様、お一人、お一人がそれぞれの現場で懸命に努力し、仕事をしていただけではないからだと思います。

自動車産業の貢献

ここで、自動車産業がどういうものなのか、数字でみたいと思います

雇用

550万人

納税

15兆円

菅義偉総理 「2050年にカーボンニュートラル 脱炭素社会の実現」宣言

■ 私たちも 全力でチャレンジ

昨年、菅総理が「2050年にカーボンニュートラル 脱炭素社会の実現を目指す」と宣言されました。地球環境問題の解決に向けた総理のご英断に敬意を表しますとともに、私たちは、その実現に抜けて全力でチャレンジしたいと思えます。

■ 国家をあげての 取り組みに

これは、「すべての自動車が生産されるべきではない」という単純な話ではありません。むしろ、その自動車を生産するために使われる電気。その電気をつくる時に出る二酸化炭素の量を減らすことが、たいへん重要になります。だからこそ、みんなが一緒になって、カーボンニュートラルを実現する道筋を

考え、そして、国家をあげて取り組むことが大切だと思っています。

■ 私たちの 役割と責任

ホームタウン、ホームカントリーと同じように、地球というホームプラネットを大切に、次の世代に美しい故郷を残していくために、この取り組みを支えていくのが、私たちの役割であり、責任であると思っています。

■ 550万人の 力を一つに

「コロナ危機の前から、1000年に一度の大改革期」を生き抜くために、私たちは一緒に頑張ってCASEと呼ばれる技術革新に取り組んで参りました。変革の準備はできています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今こそ、自動車産業550万人の力を一つにする時だと思いません。

■「SDGs」の取り組みも加速

今年は東日本大震災から10年。東京オリンピック、パラリン

ピックの開催も予定されており、震災からの復興、コロナからの復興が大きなテーマになる年です。

「誰ひとり取り残さない」という姿勢で、国際社会の目指している「SDGs」の取り組みを加速させる年でもあると思います。

私たちは、動く。 550万人の一步が、明日につながる

■もう一步踏み出す

例え、立ち止まったとしても、また動き出すことが大切だと思います。お一人、お一人が自分以外の誰かのために、昨年できなかったことを一つだけやってみる。もう一步踏み出してみる。みんなの一步を合わせると550万歩になります。私たちの一步は、日本、そして地球の明日につながっていると思っています。そして一步、踏み出してくれた仲間に対して「ありがとう」と言い合える。そんな自動車産業、そんな日本を皆様と一緒につくりたいと思っております。

そのために、私自身も、変革に向けた更なる一步を踏み出す覚悟です。

■少しでも明るく、楽しく

コロナとの闘いは厳しさを増しておりますが、こんな時代だからこそ、「深刻にならず、真剣に」みんなで心を合わせて、2021年を少しでも明るく、少しでも楽しくしてまいりましょう。
くれぐれも健康・安全第一で、今年もどうぞ、よろしくお願いたします。本当にありがとうございます。

各企業・各団体のみな様、動画のリンク貼付にご協力いただき、ありがとうございました！

今回の「自動車業界550万人に向けたメッセージCM」及び「自工会会長年頭メッセージ動画」につきましては、多くの企業・団体の皆様にメッセージ動画のリンクを各社HPやSNS上でご掲載いただきました。年末年始のご多忙の時期よりご協力いただきまして誠にありがとうございました。

引き続き #クルマを走らせる550万人 の仲間としてみな様と一丸となって業界を盛り上げて参りたいと思います。

JAMAGAZINE 編集部

自工会の「2050年カーボンニュートラル」 に向けた課題と基本的な考え方

2020年10月の菅総理の所信表明を受け、12月14日に自工会・環境技術・政策委員会の三部敏宏委員長（ホンダ専務）はメディア向けのブリーフィングを開催しました。また、12月17日には自工会豊田章男会長がメディアとの懇談会を開催し、カーボンニュートラルに向けた意気込みを語りました。



▲豊田章男会長

自工会の基本的考え方

■菅総理が2050年カーボンニュートラルを目指すと言われたことは、我が国の国際ポジションを高める英断であったと考えています。総理方針に貢献するため、自動車業界を挙げて、全力でチャレンジしていきます。

■2050年カーボンニュートラルは、画期的な技術ブレークスルーなしには達成が見通せない、大変難しいチャレンジです。欧米中と同様の政策的・財政的措置等の支援が必要と考えます。

■自工会会員各社も研究開発投資（年3兆円）等で最大限努力しており、以下、支援が必要と考えます。

- ・研究開発及び設備投資支援の維持・拡充
- ・欧米中並みの脱炭素エネルギーインフラ整備：
電源の脱炭素化+充電インフラ整備、安価な脱炭素水素供給インフラ整備
- ・電動車需要喚起（補助金・減税制度の維持・拡充等）

次ページより、自工会が考えるポイントを、図等を使って紹介いたします。

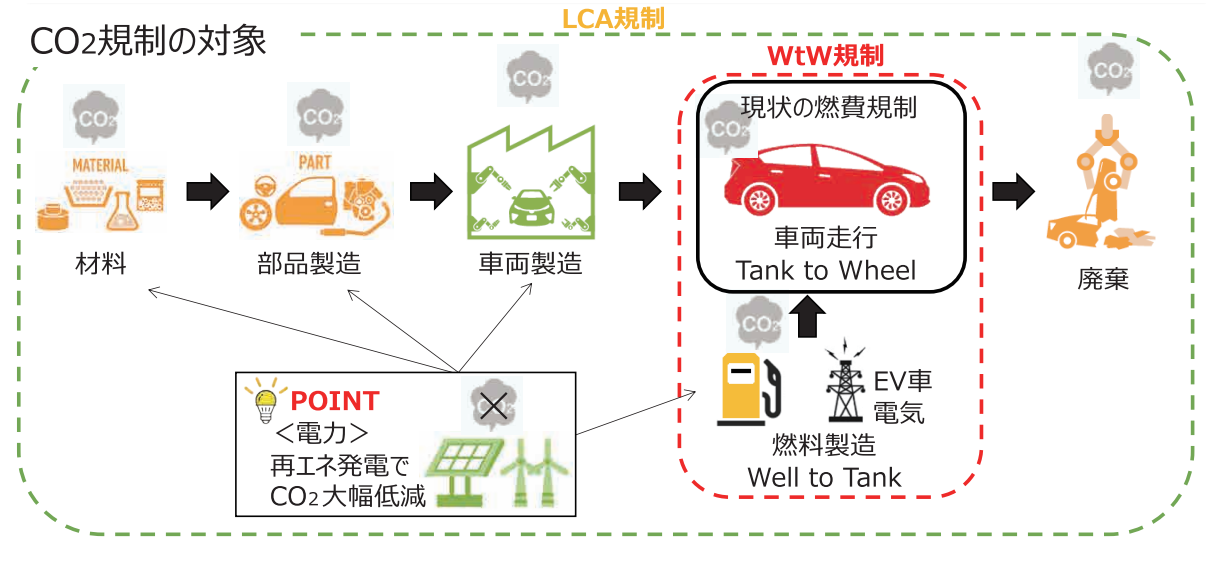


▲三部敏宏委員長



① 自動車のカーボンニュートラル化に必要なこと

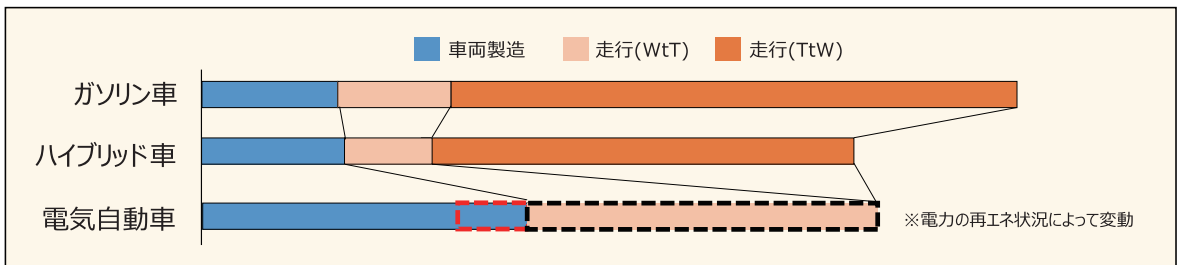
- カーボンニュートラルには、全ての段階で発生するCO₂をゼロにする必要
- カーボンフリー電力がポイント



② カーボンニュートラル実現に向けた課題

- 自動車業界にとっても、サプライヤー含む生産の脱炭素化が進まなければ、欧米への輸出が阻害され、競争力喪失する可能性あり
- 安価な再エネ普及が必要

部品/車両製造・燃料製造時含めたCO₂削減(再エネ化)が必要だが、再エネの入手性やコスト面課題が産業競争力に大きく影響。



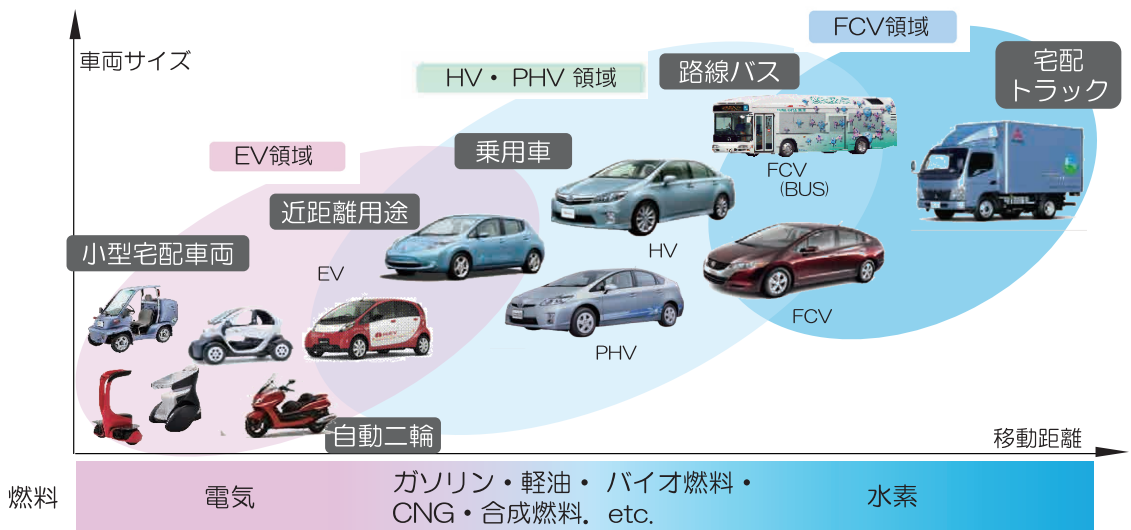
出典：IEA Global EV Outlook 2020(第4.2図)のデータセットに2017年の日本の電力原単位を加味して算出

③ ゼロエミッション化に向けた具体的な取組みと課題

項目	課題
電動化	<ul style="list-style-type: none"> ■ HEVを含む電動化,特にBEV/PHEV/FCEVの普及に向けた技術開発 ■ 車両の軽量化,パワートレインの高効率化,走行損失低減,走行エネルギーミニマム化に向けた諸技術を総動員した対応
自動車の使われ方	<ul style="list-style-type: none"> ■ エコドライブによる省エネルギーや安全に関する啓発活動 ■ 自動運転,MaaS社会の実現に向けたインフラ整備
社会との係わり,交通流改善	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車の使い方変化に対応できるよう,低炭素かつ多様なモビリティやシステムの提供に向けて,関連事業者と連携した取り組み ■ 交通流の改善により渋滞レスのスムーズな交通を官民で協力して推進する
エネルギーの多様化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 低・脱炭素エネルギーによる電気や水素の利用 ■ バイオ燃料やカーボンフリー燃料の内燃機関への利用

次世代自動車の特性と活用事例

- EV→小型（都市内移動）、PHV→中型車への電気利用拡大、FCV→中大型（都市間移動、将来の軽油代替）が期待



電動車の電源供給機能 正しく利用するには

経済産業省・国土交通省
災害時における電動車
の活用促進マニュアル



低炭素社会の実現に向けて電動車(HV、EV、PHV、FCV)の普及が進む中、災害時の緊急用電源として利用可能な、AC電源供給機能が注目されています。昨今の停電などの非常時にお手持ちの電動車からAC電源を供給し、活用することができます。

1. 電動車のAC電源供給機能とは

電動車のAC電源供給機能とは、駆動用電池またはエンジン作動により発生した直流電力を車載インバータで交流(AC

C100V・最大出力1500W)に変換して供給するもので、電気製品をつないで使用することが可能となります。

2. 家電製品をお使いいただくにあたり

家電製品は、一般的には、車両や屋外での使用を想定した製品設計になっておりません。また、電動車のAC電源供給機能は、住宅のコンセントから供給される商用電源とは完全には同じではありません。従いまして、家電製品を家庭内でお使いの場合と全く同じ安全・性能の保証

はできません。電動車のAC電源供給機能を用いて家電製品をお使いいただく場合は、このようなリスクをご理解いただいた上で、次の項をよくお読みいただき、十分にご注意の上、ご使用いただきたくお願いいたします。もし、異常な兆候があれば即刻、使用を中止してください。

使用する電気製品の注意事項

● 使用する電気製品の取扱説明書の注意事項に従ってください。

● 前述のとおり、一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていません。

● そのため、下記等の問題が発生する可能性があります。これらをご認識の上、ご使用ください。

● 走行中の振動で故障する可能性があります。

● 車室内温度および屋外温度は極寒地や炎天下などではマイナス30℃〜80℃となり、作動不良や故障につながります。

● する可能性があります。

● 水平設置が必要な電気製品は正常に作動しない可能性があります。

● 粉塵の多い場所や直射日光の当たる場所では使用しないでください。

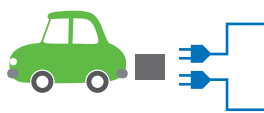
● 防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所では使用しないでください。

● アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルーム内のコンセントを使用し、アース線をラゲージルーム内のアース端子に接続して使用してください。

● 車両の状態によっては、一時的にAC電

使用する電気製品の消費電力

- AC100Vで最大消費電力1500W以下の電気製品を使用してください。許容容量をこえる電気製品を使用すると、保護機能が作動して、AC電源供給が自動停止します。
- 定格消費電力合計が1500W内であっても、起動時等に大きな電力を必要とする電気製品があり、その場合は、保護機能が作動して、AC電源供給が自動停止します。
- 定格消費電力が大きな電気製品(ホットプレートなど)の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。



源供給が断たれることがあるため、医療機器には使用しないでください。次のような電気製品は正しく作動しないおそれがあります。

- 起動時の電力が大きい電気製品
- 精密なデータ処理をする計測機器
- きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品



◀細かい仕様を含めると30種類を試作し、最適な仕様を決めた



◀「良品廉価」にこだわった「しょうどく大使」

「しょうどく大使」 足踏み式消毒スタンドの生産【トヨタ自動車】

マスクやフェイスシールドの生産、医療用防護ガウンの生産支援などを行ってきたトヨタ自動車の足踏み式消毒スタンド「しょうどく大使」生産の取り組みについてご紹介いたします。新型コロナの感染予防には一にも二にも手洗いが肝心ですが、お客様からの「もっと多くの場所にたくさん置きたい」という声に応え、提供していきます。工場など現場のメンバーが地道に改善を重ね、良品廉価な製品を世に送り出すという点では、自動車と同じ思いが込められています。

◆仲間から感染者を出さず世の中のお役に立つにはどうすればよいのか

トヨタの各工場ではもともと、コロナの感染拡大が深刻化した4月上旬から、自発的に消毒スタンドを内製し、使ってきました。国内外に補修部品や用品を届けるサービスパーツ物流部もそんな部署のひとつです。同部の磯部大祐課長は「我々はものづくりに直接、関わっている部署ではありませんが、仲間から感染者を出さない、また、お客様に幸せに感じてもらうたり、世の中の役に立てないかという思いで現場が色々と活動を続けてきました」と振り返ります。そんな思いや活動が上層部に伝わり、市販化にゴーサインが出たのです。

◆改善風土と足踏み式へのこだわり

ここからがトヨタ生産方式(TPS)や改善風土が根づくトヨタの真骨頂です。おカネをかければ電動式の立派な消毒スタンドは作れます。しかし、社員

たちは足踏み式にこだわりました。「足で踏むことによって適量を手に取ることができ、そして、自分の意思で動くので、スピーディーな反応で消毒液が出てきます。大事なポイントですが、無駄・ムラ・無理のない仕様なのです」と磯部さんは説明します。

市販する仕様を決めるまでに、系列ディーラーやレンタリース店にももちろん、病院や企業、自治体に試作品を置かせてもらい、消毒スタンドのニーズを探ったり、使い勝手の検証を繰り返したりしてきました。細かい仕様変更などを含めると、3カ月の間に試作したスタンドは30種類にも及びます。その結果、足踏みでも手押しでも使用でき、子供や椅子利用者が使えよう高さも調整できる現在の仕様が決まりました。汚れやすいパーツは外して洗うこともできます。これも、モニター利用者からの声を踏まえた改善の一例です。

仕様が決まると、次はコストダウンへの挑戦が始まりました。安価でシンプルな仕様ではありませんが、原価を徹底的に下げ、生産性を高める工夫を重ね

トヨタ自動車
サービスパーツ物流部 課長

いそべ だいすけ
▶▶▶ **磯部 大祐**氏が語る

特徴は

①足踏み②高さ調整③様々な押し方 幅広いお客様に喜んでいただける製品

—「しょうどく大使」の特徴を教えてください

「メリットは大きく3つあります。ひとつ目は足踏み式ということです。世の中には自動式もありますが、足で踏むことによって適量を手に取ることができます。自分の意思で動くので、スピーディーな反応で消毒液が出てくるわけです。2つ目は高さが調整できることです。子供から大人まで、当然ですが手の位置が違いますから。また、医療機関だと車椅子や松葉杖をお使いの人もいますが、足で踏めない方も手の甲で押すことで噴射できる。様々な押し方に対応できることが3つ目の特徴です」

—様々なところでモニターとして使ってもらったそうですが

「例えば病院ですと1日に2千人ぐらいの方がお見えになる。入り口に3台置きましたが、消毒に関しては渋滞することなく、素早く自分の意思で踏んで検温に向かって頂きました。また、車椅子の方は足もとがひっかかることのないよう、自然に手を伸ばせば使ってもらえるようにしました。それから我々の仲間であるトヨタの販売店、レンタリース店。そういったと



トヨタ自動車 サービスパーツ物流部 課長
磯部 大祐

ころでは、大きな荷物を持ってくるお客さん、ご家族連れで来るお客さんもいます。大型商業施設にも置かせて頂き、自分たちの目で見ても、また実際に使ってもらった感想を聞きながら改善を重ねてきました」

「内製した消毒スタンドを自分たちで使っている分にはいいのですが、世の中の皆さんにコロナを蔓延させないようにしっかり使って頂くためには、実用性や大きさ、重さ、衛生面での配慮など、改善していくことがたくさんあると学びました。」

「事前にモニターで使ってもらった皆さまからは非常に前向きな声を頂いており、医療や介護の現場はもちろんですが、行政や学校、そして一般企業など、幅広いお客様に対して喜んで頂ける製品です。1人でも多くのお客様に受け入れて頂ければと思います」



▲使う部品を組み付け場所や順序に合わせて用意し、生産性を向上

ました。
まず、パイプなどの部材はトヨタの生産現場で日常的に使っている汎用品を選びました。量産工程も「切断」「塗装」「組み立て」とシンプルです。樹脂部品の成型には遊休金型を再利用して

います。「セット取り」と言っても複数の部品を1回の射出で生産する工夫もしています。組み立てでも20の部品を組み付ける場所や順番に合わせて用意し、作業者がなるべく動かないよう配慮しました。最初は1本を組

み立てるのに90分かかりましたが、今では20分で済みます。最終的には5分を目指そうです。ものづくり現場のノウハウと想いが込められた「しょうどく大使」。これから、あちこちで目にする機会が増えそうです。

記者の窓



クルマの香りと記憶

●不意に何かの香りに触れると、過去の記憶を思い出すことがある。「ブルースト効果」と呼ばれる現象だ。フランスの文豪、マルセル・ブルーストの長編小説「失われた時を求めて」の一場面から名付けられた。主人公は紅茶に浸したマドレーヌを食べたとき、その香りで子どもの頃の記憶を思い出す。

●おしゃれなマドレーヌからほど遠く、私の場合は木くずの香りだ。(いや、むしろ「木くずの臭い」といった表現が近いような気がする)。

●追想するシーンは祖父が運転するクルマ内。というのも祖父は木製建具の職人で、1台のクルマで仕事と兼用していたことから車内には木くずの香りが広がっていたからだ。

●小学生の頃、通っていた剣道場には祖父がクルマで送り迎えをしてくれることが多かった。木くずの臭いを嗅ぎながら、車内では「今日は某府警の刑事で厳しい先生もいるから、稽古で当たりたくないな」など他愛もない話をしていった。帰り道はいつも喉がカラ

カラになった私に祖父がジュースを買ってくれたり、時には大好きなたこ焼き屋に寄り道してくれたりした。剣道場の送り迎え以外にも、祖父とのドライブイングの思い出をふと呼び起こすフックは、やはり木くずの香りだ。

●クルマの体験が人それぞれの記憶に残るとき、香りは外せない要素のような気がする。確かにクルマを購入する際はオプションを付けたり、グッズを備えたり、ステッカーを貼ったりと視覚に訴えて差別化することもある。そういった特徴も確かに記憶を構成する一部だ。だが外部と遮断されたプライベートな車内空間にある、目に見えない香りも侮れない。

●他人のクルマに乗ったときなど、車内の香りを敏感に感じ取るはずだ。そこには自分のクルマの香りと違和感も含まれる。「愛車」ほどの溺愛に至らずとも、香りは特定のクルマとその他大勢のクルマを峻別する役割が大きいということだろう。

しかも、それはクルマとともに年月を過ごすことで生まれてくるものだ。

●つらつらと香り、つまり五感で言う嗅覚のことを書いてきたが、もちろんクルマにまつわる記憶や愛着に視覚や触覚、聴覚の観点も同様に重要だ。「味覚」まで関係するかどうか分らないが、どちらにせよ全身で体感する経験を得られるのがクルマという製品の醍醐味だろう。

●ちょうど1年前の2020年1月に米国のラスベガスで開催された世界最大の技術見本市「CES」の取材に赴いた。近年は自動車メーカーの参加も当然のように増えてきた同見本市では「体験」が一つのキーワードだった。

●自動車業界はCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)といった新技術の潮流の真只中だ。「自動車」という概念も従来から様変わりすると言われる。だが全身で体感する製品、という根本部分は変わらないだろう。「不易流行」を意識しながら「100年に1度の変革期」と言われる自動車業界を見ていきたい。



自工会 Official Twitter はじめました！

この度、東京モーターショー公式Twitterを
自工会公式Twitterとして運用することとなりました！

既に「自動車業界550万人に向けたメッセージCM」、
「自工会会長年頭メッセージ動画」のご紹介をしておりますが、
今後、自工会として皆様にお伝えしたい内容や自動車業界を盛り上げる内容などを
つぶやいていきますので、よろしければ是非フォローお願いします！

アカウント名 ▶ @tms_jpn

URL ▶ https://twitter.com/tms_jpn

QR ▶



